

戸田市議会議員 無所属 本人

# すがわら文仁



討議資料 26号(6月議会報告) 発行人 すがわら文仁 戸田市美女木 8-21-6 TEL/FAX 422-1673



一般質問は、財政、広報、生涯学習、コンプライアンスについて提言



県内の成功事例を視察しました。埼玉県羽生市議会の議場にて。

申請は 10月15日 まで!

定額給付金

子育て応援特別手当

暴力(DV)から逃れるために居住している方も受け取れます。対象者は平成21年2月1日時点で市内に住民票があり、市外に避難している方、または市内に避難してきた方で、公的機関にDV相談をしたことが確認できる方。  
8月3日から電話相談の受付を開始し、受付期間は8月10日～10月15日まで。



無所属議員(1人会派)の控室で黙々と議案の調査中



AEDを広めた事でも有名な市川市議のプリティ長嶋議員と意見交換



## プロフィール

昭和50年7月30日生まれ 33歳  
身長170cm 体重66kg 獅子座 A型  
市立美谷本小学校・市立美笹中学校卒業  
県立伊奈学園総合高校・日本体育大学卒業  
明治大学公共政策大学院 修了(公共政策学)  
若手政治家養成塾 事務局長  
埼玉坂本龍馬会 幹事  
日本地方自治学会 会員  
戸田市体操協会 会長

【資格】 教員免許(体育・保健)  
【趣味】 読書 史跡巡り B級グルメ探索  
【特技】 バク転 スキー のび太並みの早寝  
【好きな言葉】 為せば成る(上杉鷹山)  
【夢】 努力した人が報われる社会を実現する事  
【家族】 父(体操の指導者・元教諭)  
母(体操の指導者・ミუნハン五輪選手)  
妹(NPO代表・アトランタ五輪選手)  
犬(ラブラドル・リトリバー)

## すがわら文仁とは?

### 青少年時代

幼少から体操競技をはじめ競技スポーツを経験する 大学では父と同じ教員を目指すのが教員採用試験で挫折する 政治家を志す部活の先輩に影響され、世の中を良くする道は教育以外にもあることを知る

### 社会人時代

スポーツ指導者として働き、子どもの体力低下や中高年の介護予防対策などに関心を持つ ボランティアではじめての開発途上国の学校設立活動を通じ、政治によって国民生活が大きく左右されることを痛感する

### 政治家を志してから

地盤(後援会) 看板(知名度) カバン(お金)なしで2005年の市議選に挑戦し、初当選を賜わる 2009年1月の市議選に2期目の当選を賜わる 大学院で研究した公共政策と専門家人脈を活かして、様々な政策提言を行なう 県内外の若手政治家の仲間と「若手政治家養成塾」を立ち上げ、活動が様々なメディアに取り上げられている

メール sawayaka@sugawarafumihito.com

H P sugawarafumihito.com

すがわら出張ミーティング、随時開催中!

# 第3回定例会報告

## 一般質問

一般質問とは、議員の自由な質問タイムです。市政に提言や要望を行なえるので、市民の意見を反映する場となっています。

### 質問1 競艇収益金の使途に関して

#### 【すがわらの質問】

競艇の収益は戸田競艇組合の設立以来、市財政に大きく寄与してきた。しかし、ピーク時に58億5千万円あった収益が現在10億円にまで低下しており、いつゼロ配当に陥るか予断を許さない状況だ。(図1)中長期的には競艇収益に依存しない財政構造を構築する必要がある。(1)競艇事業収益金の使途は「競艇事業収益金充当に関する調」に示しているが、予算措置の方向性はどうか。(2)また、伝統的な予算配分を基金などで将来世代へとストックする事や重点施策への投資など、基本的な使途基準を示すことはできないか。

#### 【財政部長の答弁】

(1)「競艇事業収益金充当に関する調」は議会、市民への説明資料として作成されたものである。使途はモーターボート競争法の規定により非常に幅広い分野が対象となっている。

(2)収益金の充当対象は市の予算編成過程における事業精査の結果選定されている。

#### 【すがわらの再質問】

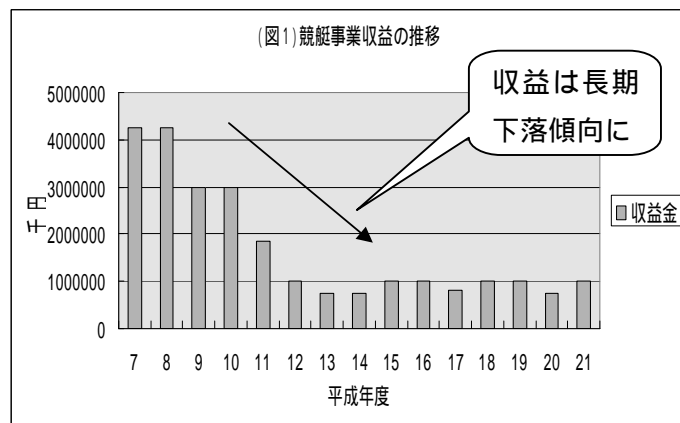
モーターボート競争法31条は、「何にでも使ってよい、自治体で決めて下さい」と解釈することができる。分権一括法以降、自治体は自主・自立の財政運営を行なうことが求められている。市としての「使途の根拠」を明確にすべきである。そのメリットは、市民へのアカウントビリティを果たす 時代に合った予算配分ができる ゼロ配当リスクを軽減する、と思われるがいかがか。

#### 【財政部長の答弁】

今後は予算編成方針に競艇収益の使途について明記して、市民に公開していきたい

#### 【すがわらの再質問】

(仮称)競艇収益の使途に関する条例や(仮称)競艇収益金使途活用委員会などの立ち上げを考える必要があると思う。検討を要望したい。



#### 【すがわらの視点】

本市の貴重な財源である競艇収益については、入(売上げ)についての議論はこれまでもあったが、出(使途)についても議論する必要がある。より厳しさが予測される戸田市の財政運営を確固たるものにするためにも、予算編成の公開とともに、議論されるべき課題である。

## 質問2 ゆるキャラについて

### 【すがわらの質問】

「ゆるキャラ」活用のもたらす政策的な効果は 経済効果(ひこにゃんで170億円との算出も) 地域PR(観光、知名度向上、コーポレートアイデンティティなど)

地域活性化(郷土愛の醸成、住民参加、集客)など様々である。埼玉県は、いち早くその効果に目を付け、コバトン(埼玉国体のマスコットキャラクター)を様々な広告、配布物、イベント、商品に利用している。(1)様々な効果が見込める「ゆるキャラの活用」について本市の認識は。また(2)本市のキャラクターを県の「ゆる玉応援団」に入団させ、市をアピールしていくなど、活用してはいかがか。

埼玉県内の自治体が制定したキャラクター(ゆるキャラ)ユニット(現在18体)で、イベントなどで活躍している。

### 【総務部長】

(1)改めて確認すると、戸田市にも約10のキャラクターが活躍している。市民には身近にお認めいただいていると考える。

(2)ゆる玉応援団は有効と考えるがキャラクターの選定や開発など整理すべき課題もあるので研究して行きたい。

### 【すがわらの再質問】

着ぐるみの作成については、羽生市の「ムジナもん」が50万円の目標で募金を集め作成したが、130万円も集まったそうである。レンタルとしても収益をあげている。着ぐるみの財源は、募金や、私が昨年提案した「寄付による投票制度」を活用するなどすることもできる。具体的な活用は子どもの教育イベントや商工祭、ふるさと祭など多いと思う。また、いろいろな自治体の取り組みを見ると、ゆるキャラ成功の鍵は 職員の情熱 キャラのネーミングやストーリーと言った戦略 子ども、女性に愛されることである。市長の所見を伺う。

### 【市長の答弁】

市政に関心を持ってもらうことやPRの観点からも良いアイデアであるので、今後、ゆるキャラ活用について考えたい




### 【すがわらの視点】

ゆるキャラの活用は、手段であって目的ではない。軸となるキャラクターをブランド化できれば、二次転用、三次転用ができ、少ない費用で、大きな効果をもたらす可能性を秘めている。例えば、納税のお知らせなど、「冷たい」と思われがちな業務などに利用するなど、活用アイデアは五万と湧いてくる。若手の職員などに開発などを任せるとしても良い。

## 活躍する戸田市ゆるキャラの一部

 トコちゃん コミュニティバス toco	 トマビー 市民活動支援センター	 マナビー 生涯学習課	 みみちゃん 市立図書館
---	---	--	---

## 他市町村のゆるキャラ

 コバトン 埼玉県	 ムジナもん 羽生市	 ひこにゃん 彦根市
---	---	---

### 質問3 産・学・官連携による生涯学習の可能性について

#### 【すがわらの質問】

戸田市は昨年より「市民大学」を開講している。先進自治体では、大学等との協定や取り決めを定め、連携をはかっている。武蔵野市は周辺大学と「武蔵野地域自由大学」をつくり、本物の大学の講義を受講出来るなど、独自の称号記も取得できる。また各大学の聴講料の補助金制度もあり、学ぶ人を積極的に支援している。戸田市も都内の大学などとの遠隔連携やeラーニングでの連携を図ることはできないか。次に、企業との連携では、市内の大企業の研究施設との連携、また商工会などをお願いするなどしてコラボレーションを図ることが出来ないか。そして、医療機関との連携は、これまでも戸田中央総合病院グループとの共同事業を行なっているが、保健行政など、さらに提携を探ることも考えられるがいかかがか。学校も企業も病院も「社会的責任を果たす」観点から地域貢献への取り組みが一層重視されている。市がそのような団体や組織に提供できる場や資源を考え、相互に良いネットワークを築くことで相乗効果を生むことが期待できる。いかかがか。

#### 【教育部長の答弁】

昨年市民大学では健康と環境について講座を開催した。提案していただいたように、大学、企業、医療機関との連携を検討し、講座充実に努めたい。

#### 【副市長】

政策研究所において大学の連携について研究をしているところであり、連携を試行的に実施した。先進自治体の事例を研究して本市にプラスになる最良の研究成果を出したい。

#### すがわらの視点

「モノの豊かさ」よりも「心の豊かさ」を求めて何かを「学んだり、活動したり」する人が増えている。また、これから多くの定年した団塊の世代の方が、いきいきとした人生をおくる事ができるように支援体制を整備する事が求められている。

### 質問4 自治体コンプライアンスについて

平成19年に質問した2つの項目について再度質問する。

1) 特定要求行為(いわゆる口利き)を未然に防ぐために、行為に対する文章化 公表 コンプライアンス条例の制定について提言して、「検討する」との答弁を得たが、その後の検討結果はどうか。2) 行政内部の公益通報者保護体制をより公正な仕組みにするために、第三者機関を設置することを提言し「研究する」との答弁を得たが、その後の取り組みはどうか。

直訳すると「自治体の法令遵守」のことであり、行政組織の意識と体制の確立を求める考え方。近年、自治体の信用が失われる様な事件が相次いでいるなかで、自ら強う姿勢で法令遵守の意志を示す必要性がある。

#### 【総務部長の答弁】

(1) 文章化は対応マニュアルに沿って報告書を作成している。公表は、全て公表というルール化はしていないが相談体制を確立している。条例化については引き続き検討する。(2) 第三者機関では、調査が難しいことや、コストの問題がある。ご理解いただきたい。

#### すがわらの視点

最近では、郵便不正を巡る厚生労働省の偽文章作成事件など、行政の信頼失墜事件が近年多発している。行政組織は、公正さの中にも公正さを期す事で、市民や議会に範を示す事が必要ではないか。

## 文教建設常任委員会

議案は4つの常任委員会に分割して審議されます。文教建設委員会は、主に教育、建設土木関連の議案を中心に審議する委員会です。また、今年からは、議会改革の一環として、各委員会とも毎月開催し、年間テーマを決めて議論することになりました。

#### 議案審査

今議会の委員会所管の議案53号・54号・56号については特段の異議なく、慎重審議の結果、すべて可決すべきものと致しました。

### 報告1 学校給食センター建替えについて

#### (事業概要)

老朽化している戸田市学校給食センターの新築工事基本設計調査についての報告が行われた。報告書によると、17億5000万円の概算設計については、委員から各地のデータと比較しても、かなり高い金額であると指摘されている。その理由は、オール電化や、約10キロワットの太陽光発電や屋上緑化など、環境に配慮した工事設計が設計価格を大きく押し上げているとの事である。

#### 【すがわらの発言】

公共施設の設計については「簡素で効率よく、華美でないもの」でなければならないと考える。この施設の場合、環境配慮型の設計は競艇場利用客や市民、また給食センター利用者である子どもたちへも視的なアナウンスによる広告、啓発といった効果があり、地球温暖化防止に積極的に取り組む戸田市の姿勢を示す良い機会ではある。しかし、施設は本来の目的である「子どもたちの安全な給食の調理と配膳の確保」そして「最小限の投資で最大限の効果」という大前提から逸脱するような設計は避けるべきである。よって、機能は必要であるが、最小限にとどめるべきである。以上の点に留意して、更にコスト意識をもった設計業務にあたって欲しい。

#### 【担当課の答弁】

安全な給食を提供できるセンター新設事業に鋭意努力をしたい。指摘された建設コストについても出来るかぎり縮減するよう、これから取り組んでいく。これからも委員会に事業の推移を報告し、意見を十分に参考にしたい。

### 報告2 戸田ヶ原再生事業について

#### (事業概要)

「戸田ヶ原再生事業」の全体構想が報告された。この事業は彩湖・道満グリーンパーク周辺にかつての戸田ヶ原の自然を再生し、自然と共生するまちづくりを市民など多様な主体とともに推進することを目的とする事業である。これまで、市は平成19年度に再生対象種、再生対象エリア、再生後の管理手法の検討などを行ない、20年度で事業全体構想の策定を行なった。そして今年度は事業実施計画を策定することになっている。次頁の図参考

(次のページに続く)

(前頁の続き)



表3 各湿地再生区域の目標値

区域	目標値	実施責任の担当主体
区域A	やや増った湿地 増えた湿地	事業の取り下げ
区域B	増えた湿地 増えた湿地	国・県・市が共同実施の事業
区域C	やや増った湿地 増えた湿地	事業の取り下げ
区域D	増えた湿地 増えた湿地	事業の取り下げ
区域E	やや増った湿地 増えた湿地	事業の取り下げ
区域F	やや増った湿地 増えた湿地	事業の取り下げ

(戸田ヶ原自然再生事業全体構想より)

【すがわらの発言】

3月議会でも指摘したが、未だ事業全体の計画や予算が明確になっていない。財源や計画が不明瞭なままで事業計画ができて、その計画を推進する事に対して、果たして市民の理解が得られるのか疑問がある。

事業概略について、都度委員会に報告を求めたい。また、成果が見えない計画にならないよう、慎重に検討をする必要があるのではないかと。さらに、国土交通省が初期整備する予定となっているE, F区画についても、ランニングコストなど、あとで自治体にツケが回ることにならないようにしていくよう進めていくよう、要望する。

【担当課の答弁】

意見を参考にしながら、今年度に策定する計画に取り組んでいきたい。

報告3 委員会の年間調査テーマが決定！

メインテーマは「いじめ対策」

すがわらが平成18年の12月議会一般質問で、いち早く問題提起した「いじめ対策」を文教・建設常任委員会の調査テーマとして提案し、常任委員会に所属する議員総意で取り上げていただきました。

いじめを根絶し、いじめの発生しない戸田市を目指して、議会として出来る最大限の努力をし、成果を出して行きたいと思えます。

具体的には(仮称)いじめ防止条例の制定など、いじめの防止、抑止を成果とする、委員会としてのアクションを起こして行くことを目指したいと考えております。またサブテーマとして、文科省、経産省、環境省の進める「スクールニューディール構想」についても研究していくことになりました。

議決の概要

平成21年5月29日～6月19日を会期とする、第3回定例会の議決概要です。

市長提出議案44号～56号(12件)、議員提出議案4号～5号(2件)、委員会提出議案2号が上程され、各委員会の審議を経て全ての議案を可決しました。

市長提出案件の主な概要

44号	市長、副市長、教育長の給与条例の一部改正 5月1日の人事院勧告を受けた6月期の市長、副市長、教育長の期末手当の凍結措置。支給率を0.15ヶ月分減額します
45号	職員の給与条例の一部改正 44号同様の理由で、職員の期末手当を凍結する措置。支給率を0.2ヶ月分減額します
51号 52号	国民健康保険に関する条例の一部改正 (平成21年10月1日から施行) 出産一時金の金額を4万円引き上げます。
53号	建築基準法に関する条例の一部改正 長期優良住宅法の施行に伴う規定整備
56号	平成21年度一般会計補正予算 補正額+21,866千円 補正後42,518,114千円 主な事業(千円)

庁舎施設緊急修繕料	6,195
市民農園新設 9/1～新曽地区	1,854
英語教育改善事業(県)	5,650
市史編さん事業(県)	7,177

議員提出議案の概要

4号	国直轄事業負担金に係る意見書 直轄事業の内訳明細の開示など透明性の確保、維持管理費の早期廃止、制度の根幹見直しを要望する意見書
5号	市議会議員年金制度の安定的運営の確保に関する決議 市町村合併により市議の数が激減し受給者が急増したことで議員年金財政が急激に悪化した。積立金の枯渇と破綻が確実視されるなかで、国の適切な措置を求める意見書

委員会提出議案の概要

2号	出産育児一時金の支給期間の延長を求める意見書 本年10月から平成23年3月31日まで出産育児一時金が4万円引き上げられたが、暫定措置としての少子化対策は抜本的ではないので、期間の延長を求める意見書
----	---

しがらみのない 個人カンパ募集しています

地盤、かんぱん、カバンなしで政治活動をスタートしたすがわらですが、広報誌発行により厳しい財政状況が続いております。健全な民主主義、まじめな政治に、しがらみのないクリーンな「個人カンパ」を募集しております。1口1円～何口でも結構です。

巢鴨信用金庫 西浦和支店 普通口座 3113812 スガワラフミヒト コウエンカイ スガワラタカコ

恐縮ですが、カンパして頂きました方は、ご一報いただければ幸いです。メール sawayaka@sugawarafumihito.com